

2021年10月29日



2022年3月期 第2四半期 決算説明資料 (2021年4月～2021年9月)

ikomatsumateRe

小松マターレ株式会社

**1) 2022年3月期 第2四半期
決算の概要**

2) 2022年3月期 業績見通し

2022年3月期第2四半期 決算概要

(単位：百万円)

項目	2021年3月期 第2四半期実績	2022年3月期 第2四半期実績	増減	
			金額	増減率 (%)
売上高	15,980	14,543	△1,437	△9.0
営業利益	632	538	△93	△14.8
経常利益	887	803	△83	△9.5
親会社株主に帰属する 四半期純利益	640	714	73	11.5

一株当たり純資産	815.33円	871.77円
一株当たり当期純利益	14.92円	16.94円

期中平均為替 レート	USD	106.93円	109.81円
	EUR	121.34円	130.88円

事業セグメント別業績

(単位：百万円)

セグメント	売上高				営業利益			
	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	増減		2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	増減	
			金額	率 (%)			金額	率 (%)
繊維事業計	15,815	14,302	△1,513	△9.6	605	538	△67	△11.1
衣料ファブリック	10,431	9,749	△682	△6.5	211	564	353	167.3
資材ファブリック	3,802	3,713	△88	△2.3				
製品部門	1,583	840	△743	△46.9	394	△26	△420	—
その他の事業	165	241	76	46.1	27	1	△26	△96.3
合計	15,980	14,543	△1,437	△9.0	632	538	△93	△14.8

<コメント>

●衣料ファブリック

国内外ともにファッション分野は需要が回復し増加したものの、スポーツ分野においては需要減少の影響から減少、加えて、中東向け民族衣装分野が新型コロナウイルス感染症拡大による需要低迷の影響から大きく減少

●資材ファブリック

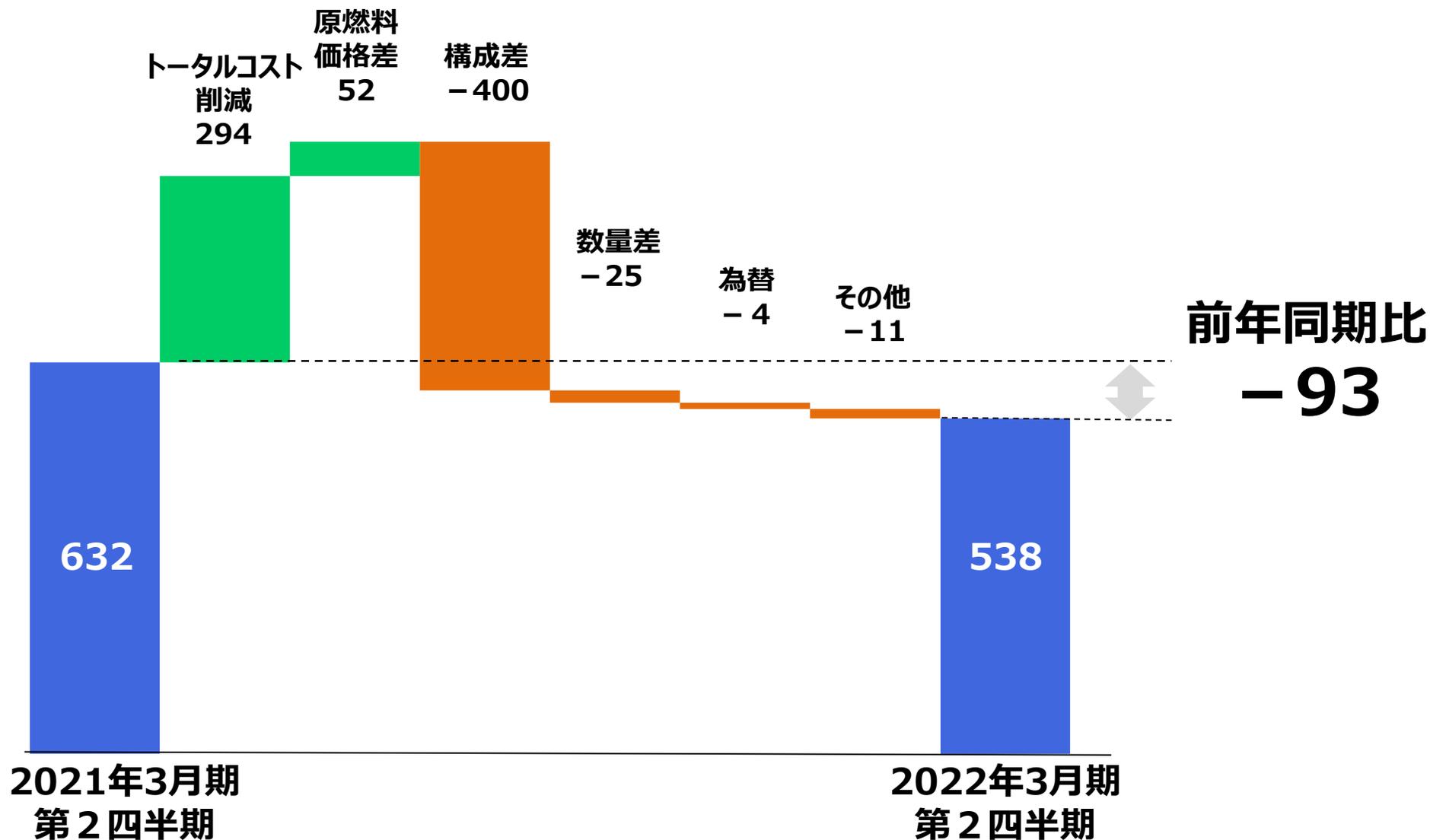
リビング分野及び車輻分野においては計画通り推移も、化粧品用途において需要が減少

●製品部門

前期の大幅な衛生関連商品の需要拡大に対して、今期においては需要が減少したことから大幅に減少

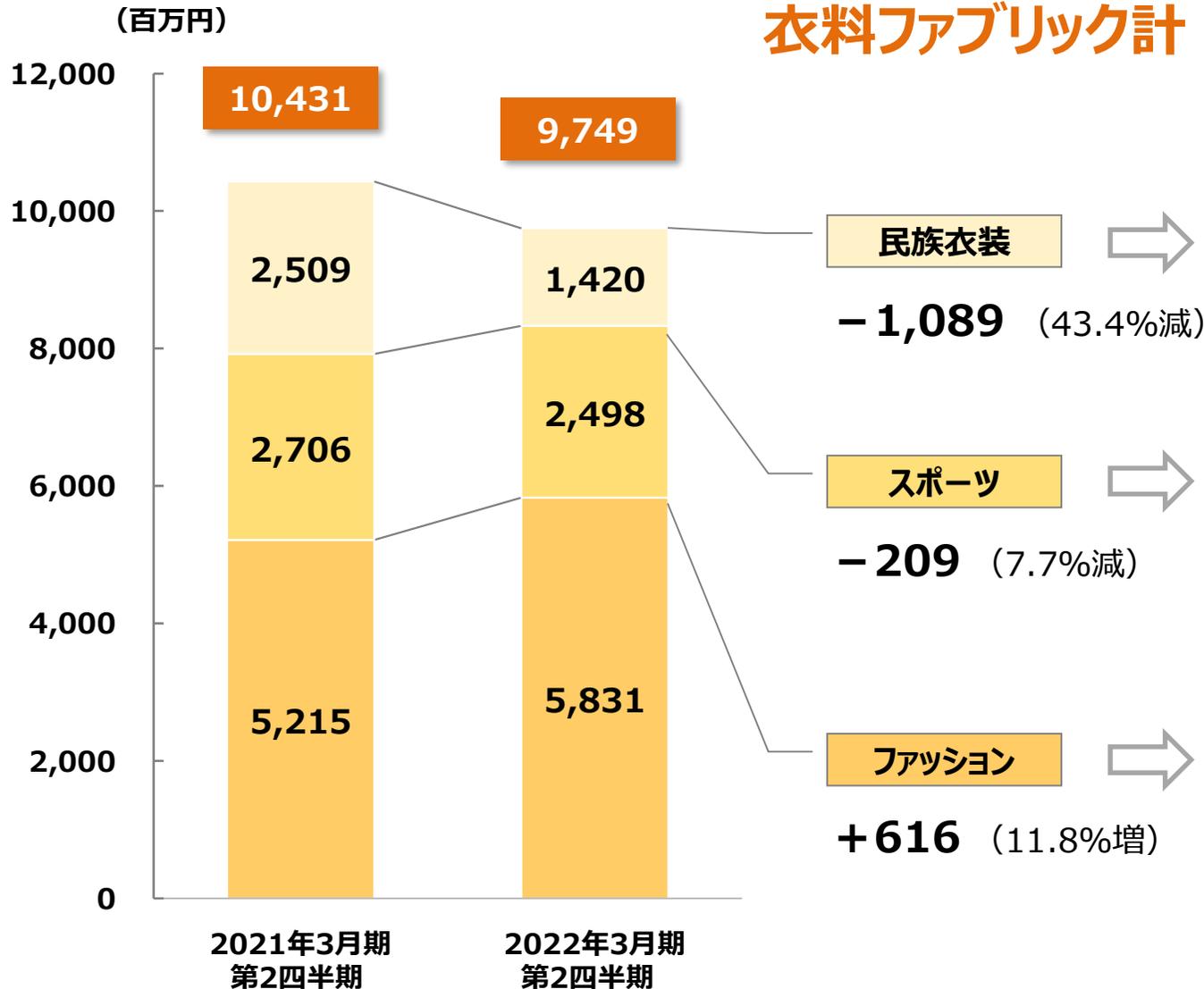
営業利益増減分析

(単位：百万円)



繊維事業（衣料ファブリック部門）

衣料ファブリック計 **-682** (6.5%減)



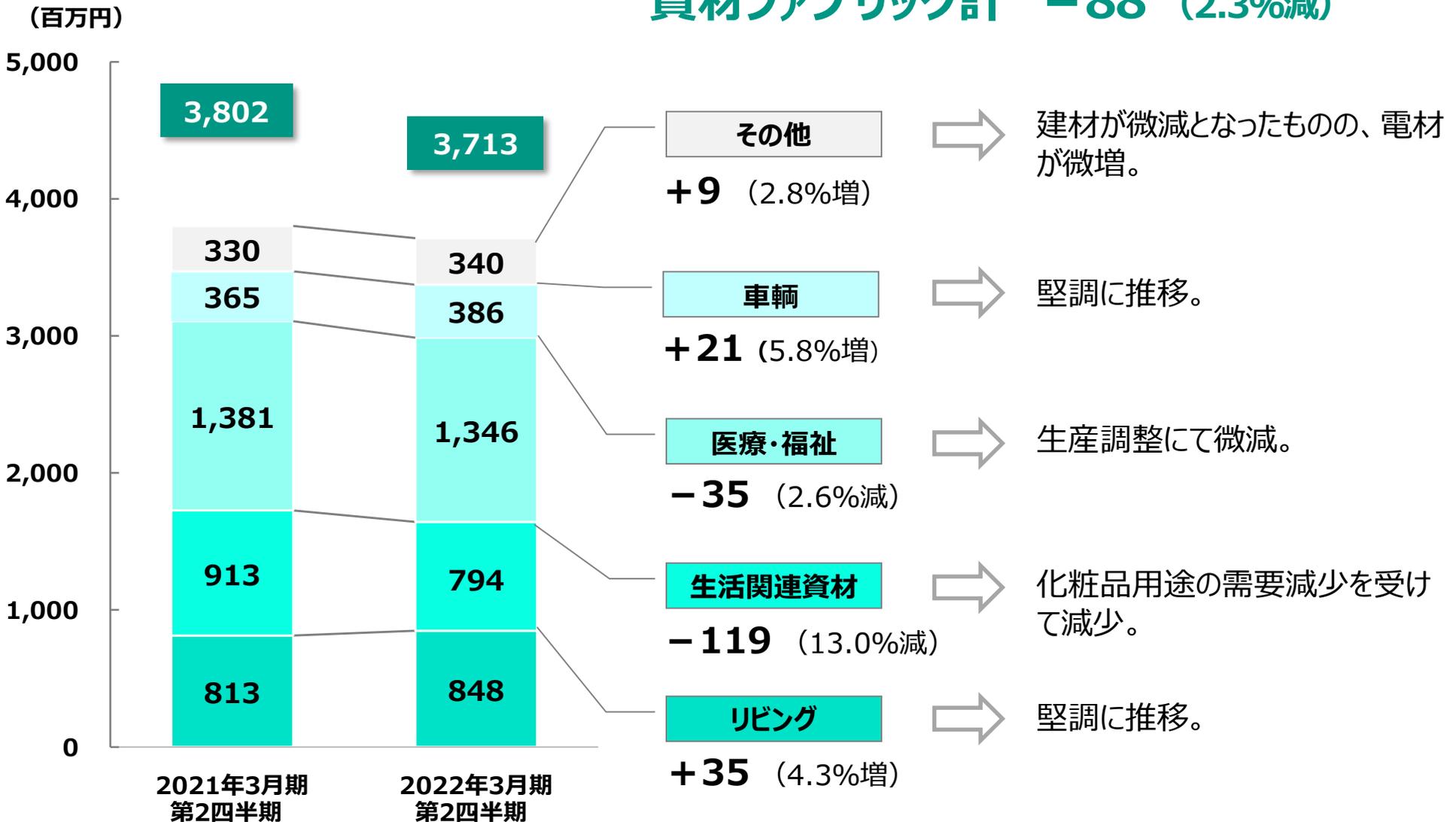
中東向けの民族衣装分野は新型コロナウイルス感染症拡大の影響による需要低迷の影響から大きく減少。

スポーツ北米市場と、ユニフォーム国内市場は堅調に推移したものの、国内スポーツ、欧州スポーツの受注減により減少。

全マーケットにおいて順調に回復。特に欧州ラグジュアリー向けが牽引したことから増加。

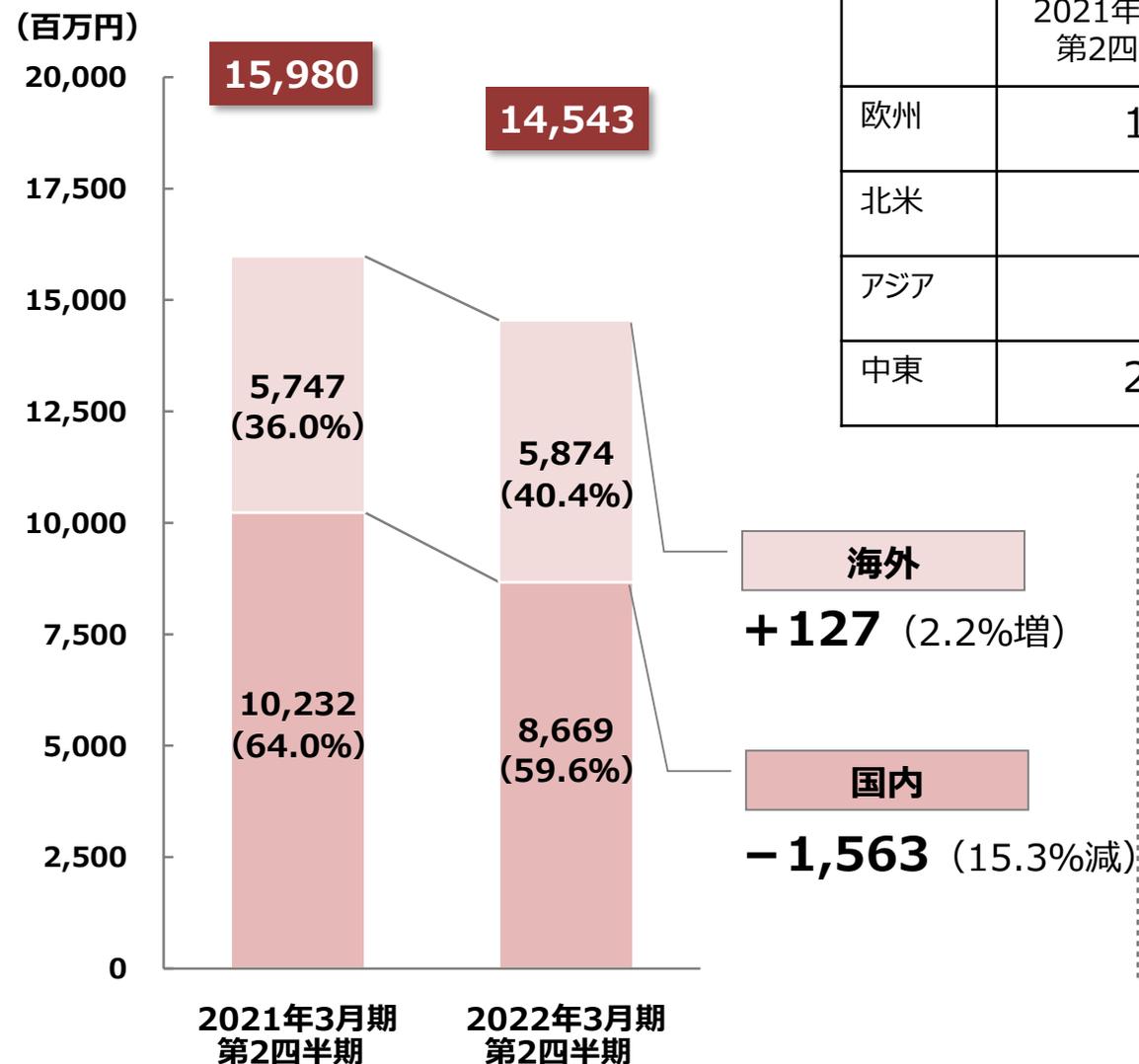
（単位：百万円）

資材ファブリック計 **-88** (2.3%減)



市場別売上高(国内・海外)

(単位：百万円)



	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	増減額	増減率 (%)
欧州	1,855	2,015	160	8.7
北米	572	804	232	40.5
アジア	932	1,417	485	52.1
中東	2,389	1,638	△751	△31.4

<コメント>

● 海外市場

- <中東> 民族衣装分野が新型コロナウイルス感染症拡大の影響による需要低迷により減少
- <北米> カナダ向けのスポーツ・ファッション分野が増加
- <欧州> ラグジュアリーを中心に回復したことから増加

● 国内市場

ファッション用途が増加、車輛・ユニフォーム分野は順調に推移するも、製品部門の減少をはじめとし、需要低迷の影響により減少

1) 2022年3月期 第2四半期
決算の概要

2) 2022年3月期 業績見通し

(単位：百万円)

項目	2021年3月期 実績	2022年3月期 通期予想	増減（通期比較）	
			金額	増減率 （%）
売上高	30,018	32,000	1,981	6.6
営業利益	1,416	1,800	383	27.0
経常利益	1,916	2,300	383	20.0
親会社株主に帰属する当期 純利益	1,810	1,850	39	2.2

一株当たり当期純利益	42.38円	43.89円
------------	--------	---------------

期中平均 為替レート	USD	106.10円	100円
	EUR	123.76円	120円

剰余金の配当について

- ◆ 当社は、株主に対する利益還元を重要課題のひとつとし、安定的な配当を継続的に行うことを基本方針としております。
- ◆ 配当性向については当期純利益の30～50%を目安としております。

● 今期中間配当金額は、1株当たり8円といたしました。期末配当金額と合わせた年間配当金額は1株あたり16円を予定しております。

● 中間配当金の総額 338,158,048円

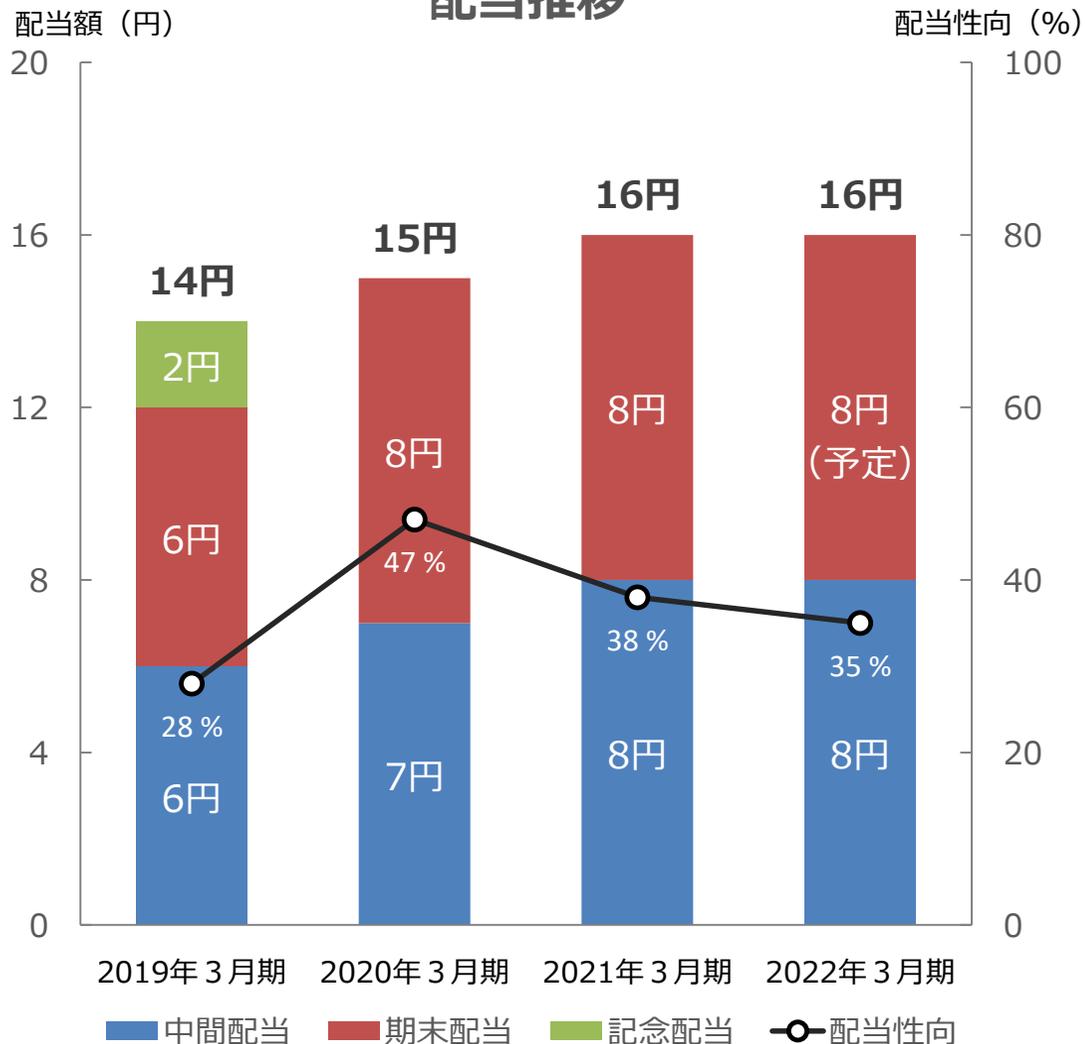
● 剰余金の配当が効力を生ずる日
2021年11月30日(月)

● 当期末の配当性向は35%を予定しております。

自己株式の取得について

- 取得株式数：215万株(上限)
- 取得総額：25億円(上限)
- 取得期間：2021年11月1日～2022年6月30日

配当推移



本資料中の業績予想、見通しについての記載は、現時点における将来の事業環境・経済状況等の仮定・推測に基づいています。実際の業績は様々な要因の変化により、これと異なる結果となる可能性があることをご理解願います。